

『Vogue』

非常勤講師（西洋服装史） 古賀 令子

19世紀にはファッション誌が数多く発刊され、読者層も飛躍的に拡大した。アメリカでは19世紀後半に服飾を中心題材とする女性誌が創刊されるようになり、1880年代には18誌が出版されていた。当時のヨーロッパの雑誌の大半が出版期間が短く、読者数も一部を除き限定されていたのに対し、アメリカではファッション誌全体の発行部数が順調に伸び、20世紀には数百万部という膨大な量に達するまでになる。1900年におけるアメリカの主要ファッション誌・女性誌は、『Good Housekeeping』、『The Ladies' Home Journal』、『The Woman's Home Companion』、『The Delineator』、『Pictorial Review』、『Harper's Bazar』、それに『Vogue』であった。当時の雑誌のいくつかは、現在も発行され続けている。そうした雑誌の1つが『Vogue』である。

本誌は1892年12月17日、Arthur Baldwin Turnureらによりニューヨークで社交界情報誌として創刊された。週刊で、定価は10セント、年間講読料は4ドルだった。ちなみにこの4ドルは、同誌の記事や広告を参照すると、革靴1足ないし麦わら帽1点に相当する金額である。出版社名はThe Fashion Companyとされ、250人が株主となり、鉄道王Cornelius Vanderbiltら当時のニューヨーク社交界の錚々たるメンバーが後援者として名を連ねた¹⁾。『Vogue』誌発刊の趣旨は「社交界やファッション、生活の儀礼的場面などについての、品格ある本物のピクトリアルな雑誌を確立することにある」と、創刊号巻頭の論説でTurnure自身が表明しており²⁾、3周年記念号では「この3年間『Vogue』の機軸としてきたのは次の2点である——1つは、雑誌を改良・発展させるための絶え間ない見直し

であり、もう1つは読者である上流の紳士淑女たちの要望への対応である」と述べている³⁾。実際、前記7誌の中で、本誌は最も上流階級をその読者層とする雑誌であった。

当初の体裁は、縦横がおおよそ32cm×23cm、2ツ折の中央を2カ所金属針で綴じた、表紙を含め24ページから40ページ程度の薄く簡素なもので、誌面は表紙を含め100%モノクロームであった。カラー印刷の表紙が定着するのは1910年代になる。

雑誌の内容は、当時の他のファッション誌同様、服飾関連記事、話題の出来事、それに小説や詩などの読み物が中心であった。しかし、本文の第1



1893年10月19日号(VOL. II No.2) 表紙

ページに当たる扉の裏に配された極めて格調の高い論説や、社交界の冠婚葬祭からトレンドな社交イベントまでを告知する「Society」欄には、本誌のクラス誌としての性格が明確に表れている。

服飾に関する情報は、いくつかの連載コラムを中心に、イラストレーションを多用して伝えられた。「紳士淑女のための雑誌」を謳っていた本誌では、女性だけでなく男性の服飾も継続的に取り上げている。初期の「Vogue」で比較的長く連載が続いた服飾関連のページやコラムとしては、「What She Wears」（女性の服飾）、「The Well-dressed Man」（男性の服飾）、「Seen in the Shops」（服飾を中心とする商品情報）、美容や化粧品に関する「On Her Dressing-Table」などがある。写真もポートレートなどから徐々に用いられるようになるが、ファッション紹介に関しては長くイラストレーションがその中核を担う。その後大きなビジネスへと発展する型紙の通信販売と結び付いた「Vogue's Weekly

Pattern」は1899年から登場するが、ここからは外面的な流行情報からは得られない当時の衣服の構造や素材使いを窺い知ることができる。同様に、読者からのさまざまな質問投稿に「Vogue」が答える「Answers to Correspondents」からは、当時の人びとのさまざまなライフスタイルや生活に根差した衣服観が浮かび上がってきて、実に興味深い。

Turnure は1906年に亡くなり、その後1909年に「Vogue」は Condé Nast に買収され、現在ファッション誌の世界的グループである Condé Nast 社の基盤となる。1950年代まではハイソサエティのための高級モード誌だったが、'60年代以降は芸術性の高い写真表現の先鋭的ファッション誌となり、'70年代に入ると再び路線変更して働く女性を対象に社会的記事など読み物にも力を入れるようになった。'80年代以降は、ファッション指向の強いおしゃれな女性に照準を合わせた雑誌となっている。当初の週刊から、1910年以降は月2回の発行となり、1973年以降現在は月刊である。また、1916年にイギリス版、1920年にフランス版が発刊され、これらに加え現在はイタリア版、スペイン版のほか、子供、宝飾、男性版など、世界中で何種類も出版されている。

本図書館には、草創期の「Vogue」が1893年10月19日号以降保存され、ほかにイギリス版(1927年以降)、フランス版(1920年以降)なども収集されており、100年余にわたり今日までつながる本誌は、20世紀ファッションの形成とファッション情報の変容を検証する極めて貴重な資料となっている。



1914年7月15日号(VOL.44 No.2) 表紙

注)

- 1) Edna Woolman Chase & Ilka Chase, ALWAYS IN VOGUE, p.23, Victor Gollancz, London, 1954
- 2) *ibid.*, p.23
- 3) *ibid.*, p.27